

取扱説明書



システムバスルーム
集合住宅向け

M・F シリーズ

ユニットリア

Y T A シリーズ

パネルキット

P シリーズ

保証書在中

大切に保管してください

ご愛用者のみなさまへ

このたびは、「ハウステック システムバスルーム」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。長くご愛用いただくために、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

●この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに「保証書」とともに大切に保管しておいてください。

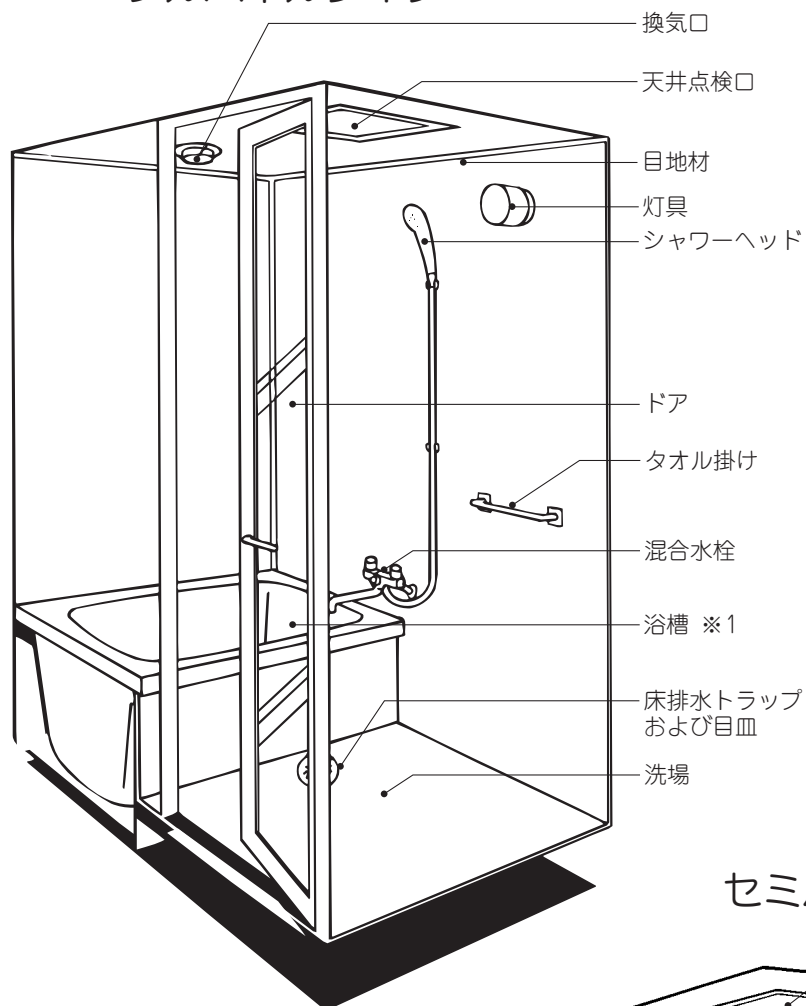
今後とも弊社製品を、ご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

目 次

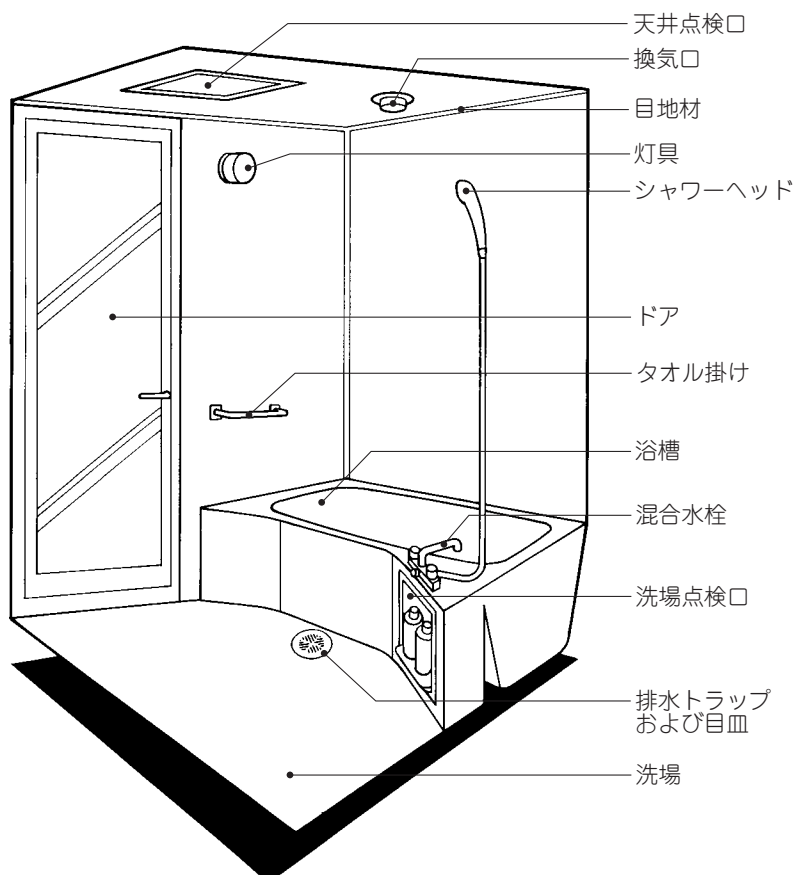
1. 各部の名称	3
2. 安全上のご注意	5
(必ずお守りください。)	
3. 使用方法と使用上のご注意	
(1) 給水給湯について	10
(2) 換気について	11
(3) 排水について	12
(4) 表面保護について	12
(5) 灯具について	13
(6) 鏡について	14
(7) 目地について	14
(8) 翌朝快床について	14
(9) 混合水栓について	15
(10) タオル掛けなどについて	17
(11) ドアについて	18
(12) 点検口について	20
(13) 火気禁止・薬品禁止	21
(14) 浴槽と風呂フタについて	22
(15) ロータンクについて	23
(16) その他使用上のご注意	23
4. お手入れ方法	
(1) 壁・天井・ドアのお手入れ	25
(2) 目地のお手入れ	25
(3) 目皿・排水トラップのお手入れ	26
(4) 床及び浴槽のお手入れ	27
(5) 水栓金具・タオル掛け等	28
(6) 混合水栓(2バルブ水栓)のパッキン交換要領について	28
(7) 灯具の交換方法	29
(8) 浴槽下及びバランス釜循環パイプのお手入れ	30
5. 「あれ？」と思ったら	31
6. アフターサービス	32

1. 各部の名称

フルパネルタイプ



セミハーフパネルタイプ

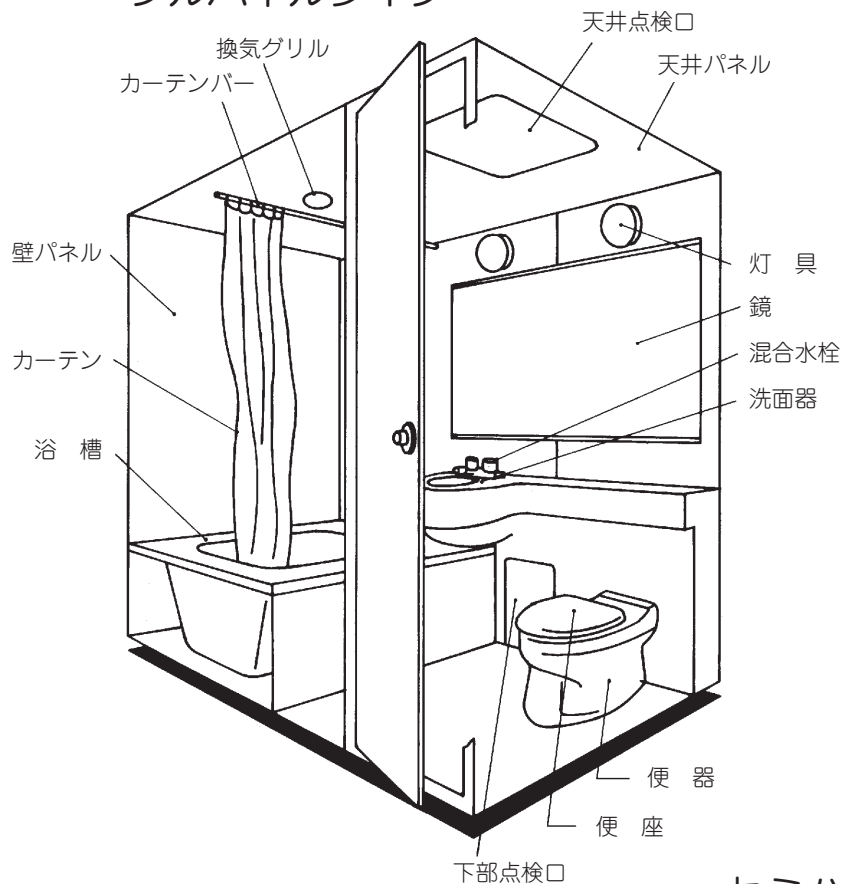


※1 BL認定バスルームにおいては必ずBL認定商品（浴槽、バランス釜、カベピタ）をお使いください。

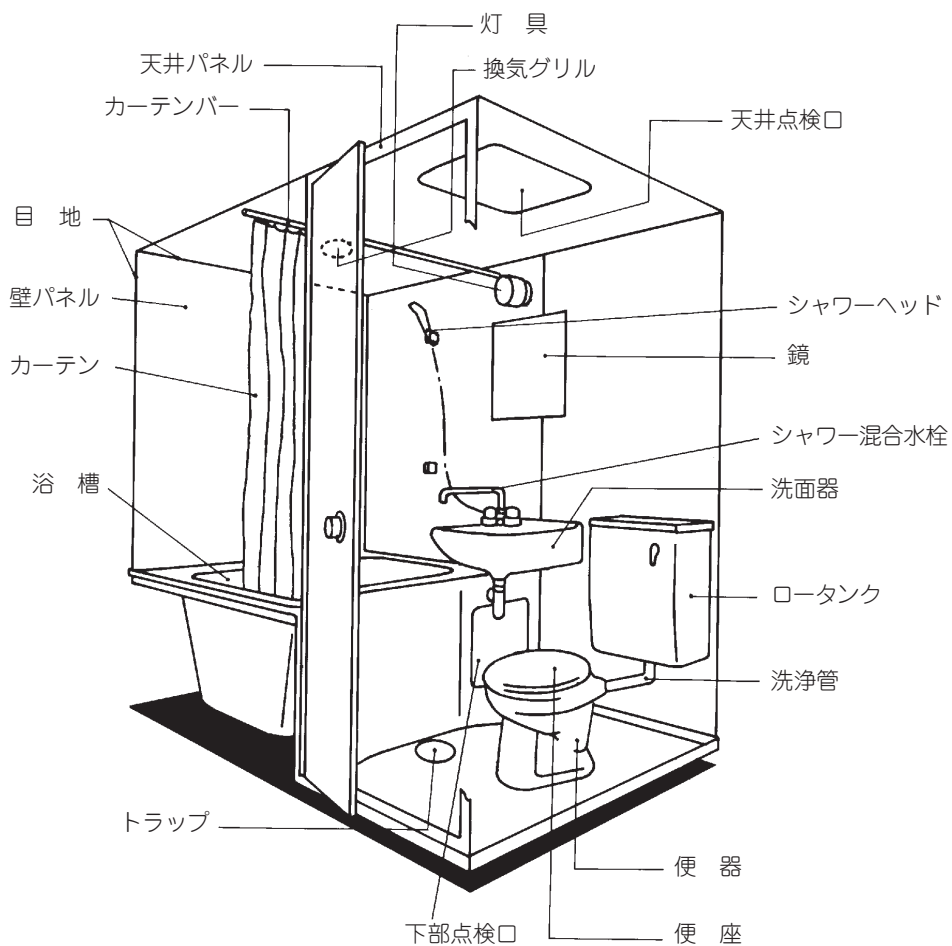
●現品は図と異なる場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称（続き）

フルパネルタイプ



セミハーフパネルタイプ



●現品は図と異なる場合がありますので、ご了承ください。

2. 安全上のご注意

安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

—— 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。 ——

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意 味
	この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は必ず実行していただきたい「強制」の内容です。
	この絵表示は「感電注意」の内容です。
	この絵表示は「接触禁止」の内容です。

—付記—

＊お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

＊転居される場合は、新しく入居される方に製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡してください。

安全上のご注意（続き）

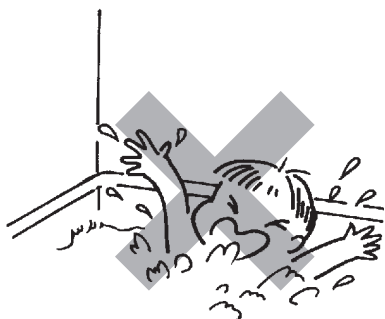
警告

入浴時の注意



禁止

- 幼児や身体の不自由な方を一人で入浴させないでください。おぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。
- 浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。浴そうでおぼれたり、ヤケドのおそれがあります。



風呂フタについてのご注意



禁止

- 風呂フタの上には手をついたり、のったりしないでください。フタがはずれて、ヤケドやケガをすることがあります。

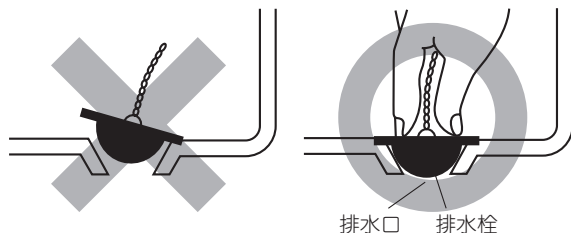


浴槽の排水栓はきちんとしめましょう



排水栓

- 排水栓をきちんと排水口に押しこんでください。風呂釜ご使用の場合水がもれますと空焚きの原因となります。

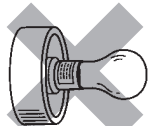


照明器具の取扱い

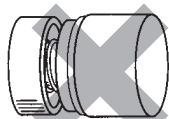


禁止

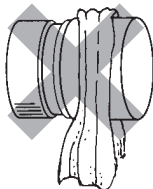
- グローブなしで使わないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。
- 照明器具にタオルなどを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。



グローブなし



グローブが
ゆるんでいる



タオル・アクセサリ
を掛ける



直接水を
かける

感電に注意



禁止

- 浴室内に電気製品を持ち込まないでください。感電のおそれがあります。



感電注意

※ドライヤー・電気ストーブ・電気
かみそり・電気ホットカーラー・
電動マッサージ機他。

安全上のご注意（続き）

警告



取説確認

- バブルバス・混合水栓・換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。

お手入れ時の注意



禁止

- 照明・換気扇のお手入れ・電球の交換等は、必ず電源を切ってから行なってください。感電やケガをするおそれがあります。

飲酒後の入浴禁止



禁止

- お酒などを飲んで入浴しないでください。



※鏡にぶつかったりして、割れたガラスの破片でケガをするおそれがあります。

※足を滑らせ、転ぶおそれがあります。

※転んだ時に、浴槽や、ドア、床などにぶつかりケガをするおそれがあります。

バブルバス



禁止

- 吸込口のカバーを外して使用しないでください。運転中に吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

- 次の方は使用しないでください。
 - 妊娠婦
 - 心臓疾患のある方
 - 高血圧の方
 - 泥酔者身体に異常を起こすおそれがあります。



- 15分以上の入浴はしないでください。心臓に負担をかけるおそれがあります。

詳細についてはバブルバスの取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意



禁止

- 浴槽のふちやカウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせたり、浴槽が傾いて転び、ケガをするおそれがあります。



禁止

- 浴室内にガラス製品などの割れやすいものを持ち込まないでください。割れて、ケガをするおそれがあります。



禁止

- タオル掛けなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



湯温確認

- 入浴前に必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。



禁止

- ドアの急激な開閉はしないでください。(ドアは静かに開閉してください。)手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。



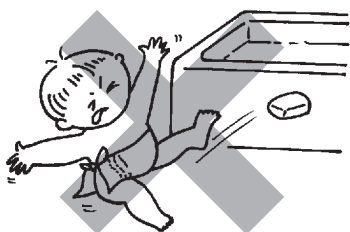
転倒注意

- 電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。



転倒注意

- 浴室内は、石けん液などですべりやすくなっていますから、気をつけてください。ころんで、ケガをするおそれがあります。



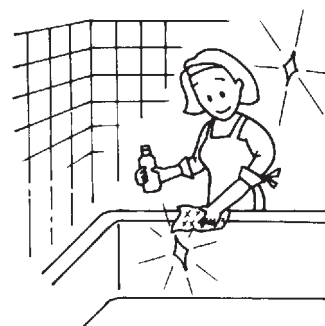
接触禁止

- 出湯時や止水直後は、水栓の金属部にふれないでください。ヤケドをするおそれがあります。



洗剤確認

- 掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。使い方を誤ると人体に影響が出たり、床・浴槽・壁等に不具合を生じるおそれがあります。



湯温注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。



禁止

- サーモ付き混合水栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。湯温が急上昇してヤケドをする恐れがあります。

安全上のご注意（続き）

！ 注 意



禁止

- 天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。



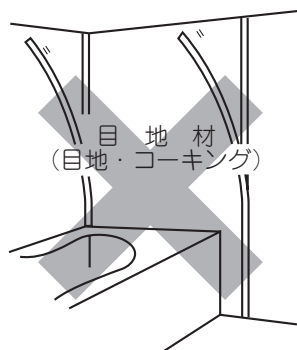
禁止

- 洗場点検口は、設備点検時以外、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- 目地（コーキング）が切れたり、浮いたまま使用しないでください。水もれのおそれがあります。



風呂フタ

- 風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



禁止

- 排水口にシンナー等の溶剤や、薬品類を流さないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります



禁止

- 浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って水がもれるおそれがあります。



禁止

- 浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。



水抜き

〈寒冷地用水栓〉

- 凍結が予想される時は、水抜きをしてください。凍結破損で水もれをし、家財などをぬらすおそれがあります。



部品取付

- 商品引き渡し後、器具の位置を変えたり、新しく取付ける場合は、必ず販売店などにご相談ください。誤った取付をすると、思わぬ事故や水もれの原因となります。

3. 使用方法と使用上のご注意

(1) 給水給湯について

入浴される前に浴槽への給水や給湯には次のことにご注意ください。

**浴槽の排水栓はきちんと
しめましょう**

警告



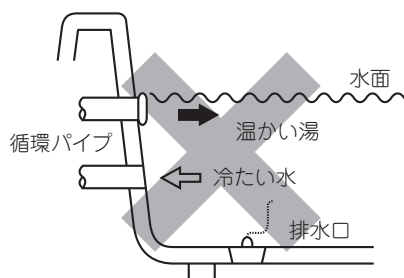
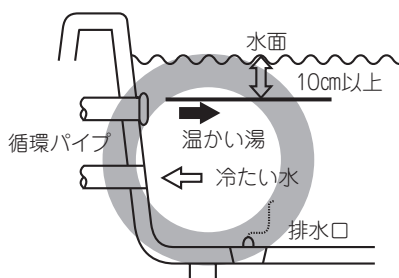
排水栓

排水栓を手できちんと排水口に押し込んでください。自然循環式風呂釜をご使用の場合、空焚きとなり、火災のおそれがあります。



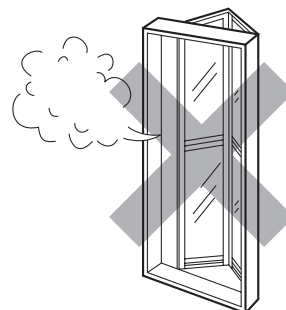
浴槽の水位にご注意ください。風呂釜ご使用の場合

- 風呂釜ご使用の場合は上段の循環口の最上端より10cm以上のところまで水を入れてください。万一浴槽の水位が上段循環口以下のときは、空焚きの原因となりますのでご注意ください。



ドアはきちんとしめましょう

- 給湯する場合は浴室のドアは必ず閉めてください。ドアを開けたままにしておくと浴室外に蒸気がもれて他の部屋に悪影響を及ぼします。

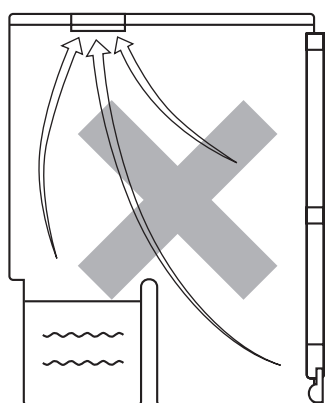
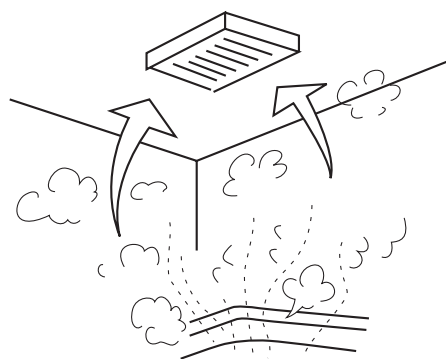


使用方法と使用上のご注意（続き）

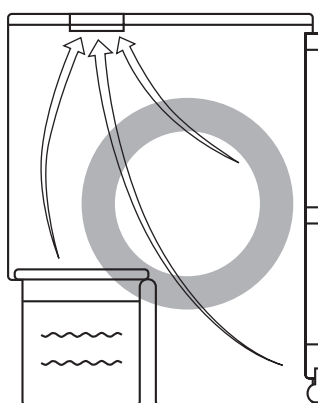
(2) 換気について

浴室内を蒸気のこもったまま放置しておきますと、悪臭やカビなどの発生原因となります。また、浴室内のいたみが早くなることもありますので、換気・乾燥を心がけてください。

- 換気扇付きの場合、入浴後、換気扇を30分以上回してください。
- 入浴後は必ず風呂フタをしてください。
- 窓がある場合、窓をあけて換気を心がけてください。



浴槽のフタをしないで行う



浴槽のフタをして行う

使用方法と使用上のご注意（続き）

（3）排水について

洗い場の排水口には、臭気止め機構（トラップ）がついておりますので次のことにご注意ください。

トラップは常に正常に

- 目皿を取りはずした状態でのご使用はお避けください。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。

溶剤・薬品等を流さないように



注意



禁止

排水口にシンナー等の溶剤や薬品を流さないでください。水もれのおそれがあります。

トラップ封水切れの注意

- 長時間留守にする場合蒸発等により封水切れで悪臭の発生する場合がありますのでご注意ください。万一臭気が発生した場合は、換気をし、排水トラップに水を流してください。

（4）表面保護について

衛生的で、美しい浴室ユニットを保つために、次のことにご注意ください。

床面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、重くてかたいものを床に落とさないでください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。これらはすべて傷つき・ヒビ割れの原因となります。
- またヘアピン・カミソリの刃などを床に置くとサビが付着してとれなくなることがあります。



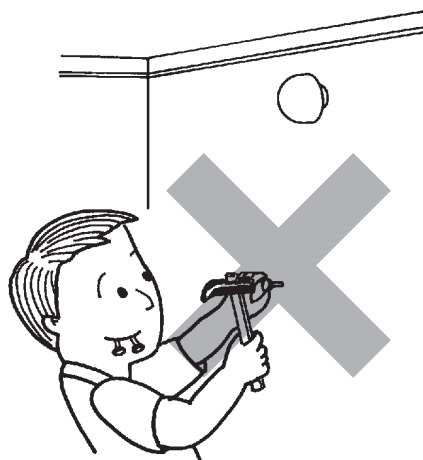
使用方法と使用上のご注意（続き）



禁止

壁・天井・ドア面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、たたいたりしますと傷つき破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 壁・天井への穴あけ・釘打ちなどは絶対にしないでください。



壁面を変色させないために

- 壁面（塩ビ鋼板の場合）に吸盤付の石ケン受けなどを取付けますと、吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

(5) 灯具について

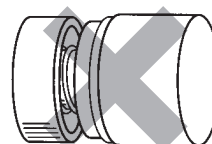


禁止

グローブは確実にしめましょう

- グローブ（灯具）をはずしたり、ゆるんでいる状態で使用しないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。

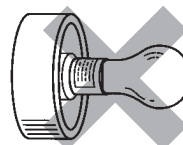
グローブ
がゆるん
でいる



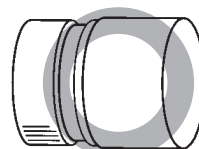
水かけは禁物

- グローブに直接水がかからないようにご注意ください。
- 照明器具には、タオル等のものを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。

グローブ
なし



正常



台座

グローブ



タオル・
アクセサリ等を掛ける



直接水を
かける

使用方法と使用上のご注意（続き）

（6）鏡について



禁止

- 鏡に物をぶつかけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石ケン水を含んだタオルで鏡の表面を拭いてご使用ください。

（7）目地について（防水上たいせつな目地材）



目地注意

- 目地材は水もれを防ぐために大変重要なものです。いためたり、取りはずしたりしないでください。
- 入浴後、目地にカビなどが生えないよう換気してください。



注意



禁止

床・壁・天井の継目部分の目地材（コーキング）を傷つけたり、切ったりしないでください。水もれのおそれがあります。

（8）よくあさかいしょう「翌朝快床」について

洗場の床が「翌朝快床（ウェーブダイヤパターン）」の場合は、以下の特性をご理解ください。



ウェーブダイヤパターン

初めてご使用になる場合

- 床表面に製造時の油分が付着して「翌朝快床」が持つ本来の性能を発揮できない場合があります。この油分は入浴していると次第に洗い流されますが、初めてご使用になるときに浴室用の中性洗剤で床を洗っていただくと、より早く「翌朝快床」の性能が発揮されます。

日常のご使用では

- 風呂いすや洗面器が床に置いてあると、その設置部分は排水の障害となって水が残り、他の部分に比べて乾きが遅くなります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

（9）混合水栓（シャワー付）について

ご使用にあたってのお願い

機器の温度設定は適温で

- 給湯機器の温度設定は水栓機能に支障のない範囲（50℃～60℃）で設定してください。

切り替え操作はよく確かめて

- 切替ハンドルはシャワーと吐水口の位置をよく確かめて操作してください。

ハンドル操作はゆっくりと

- 切替ハンドルを急激に動かすと配管を傷める原因になりますのでゆっくりと操作してください。

湯温の確認も忘れずに

- 水栓からお湯を出すときは洗面器などにお湯をためて手で軽く温度の確認をしてください。

表示通りの温度でお湯が出ないとき

- 専用の取扱説明書に記載されている調整方法をお試しください。

専用説明書の確認

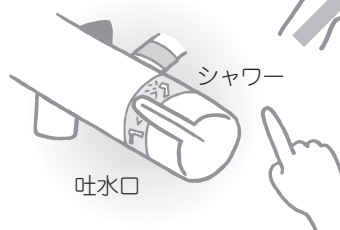
- 洗い場水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。



50℃～60℃

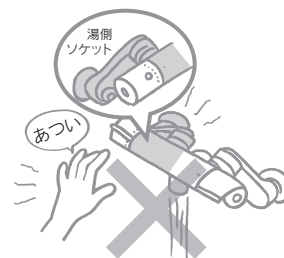


水栓使用時は
高温側に変更
しない



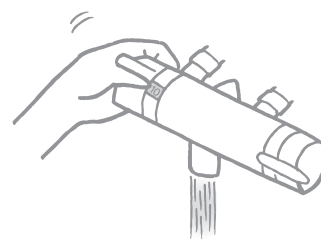
操作部以外は触らずに

- お湯を出すと水栓表面が熱くなるので操作部以外は触らないでください。



熱いお湯には気をつけて

- 熱いお湯を出したあとは水栓の中が熱いのでしばらく水を出してください。



使用方法と使用上のご注意（続き）

混合水栓（2バルブ・シャワー付）の場合

混合水栓は水側から出しましょう

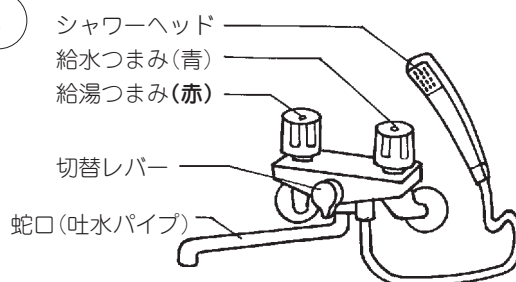


湯温注意

- お湯から先に出しますといきなり熱湯が出たりして危険です。必ず水から出し次にお湯を出しながら湯温を調節してください。
- とめるときはお湯を先にとめてください。

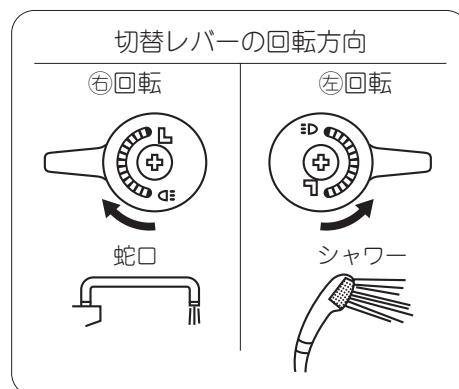
つまみの色の表示で湯・水を区別してください

赤い表示のつまみ（向かって左側）→給湯用
青い表示のつまみ（向かって右側）→給水用



湯温を調整する場合

- ① まず中央にある切替レバーを蛇口側にし、給水つまみを回して蛇口（吐水パイプ）より水を出します。
- ② 次に給湯つまみを徐々に回して適温に調整してください。



混合水栓の種類によっては切替レバーの形状が異なる場合があります。

湯を止める場合



湯温注意

- ① 給湯つまみから回して湯をとめます。
- ② 次に給水つまみを回して水を止めてください。このとき切替レバーが蛇口（吐水パイプ）側になっているかご確認ください。

シャワーご使用の場合



湯温注意

- ① まず蛇口（吐水パイプ）のところで湯温調整をしてください。
- ② 次に切替レバーをシャワー側に回転してください。
- ③ シャワーヘッドよりお湯が出てきますので湯加減を確認後シャワーを使用してください。



禁止

サーモ付混合水栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。湯温が急上昇してヤケドをするおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）



湯温注意

シャワー使用後は切替レバーを蛇口(吐水パイプ)側にしておきましょう

- 切替レバーをシャワー側にしておきますと、思わぬ時に水を頭からかぶることがあります。
- シャワー側にしたままでお湯から先に出しますと、熱湯を頭からかぶりやけどをする危険があります。

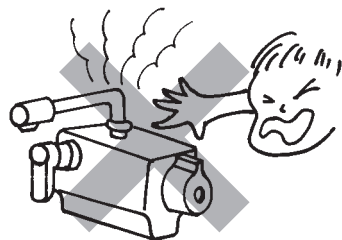


混合水栓の蛇口はゆるやかに横に動かしましょう

- 蛇口を上下に動かしたりしますと水もれの原因となります。

混合水栓の上にのらないでください

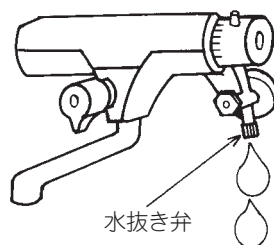
- 水栓の蛇口(吐水パイプ)にのらないでください。水栓の上に足をかけたり、お子様がぶらさがったりすると危険です。
- 水栓の本体や吐水パイプの金属部分を触らないようにしてください。給湯中でなくても熱くなっていることがあります。



禁止

寒冷地用水栓ご使用の場合

配管の凍結が予想される場合は、水栓の水ぬきを必ず行ってください。



水抜き
注意

(10) タオル掛けなどについて



注意



禁止

タオル掛け、カーテン、カーテンバー、握りバー、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



使用方法と使用上のご注意（続き）

（11）ドアについて

ドアの開閉は静かに

⚠ 注意



禁止

ドアの急激な開閉はしないでください。

（ドアは静かに開閉してください。）

手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。

ドアロックや引手にお子様がぶらさがらないようご注意ください。

ドアガラリに直接水をかけないようにしてください

ドアロックは水をきらいます

- ドアロックに水をかけたりしますとサビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなる場合がありますのでご注意ください。

ドアロックについて（框戸、レバーハンドルに関して）

ロックは次の要領で施錠、解錠することができます。

浴室に入り錠をかける場合

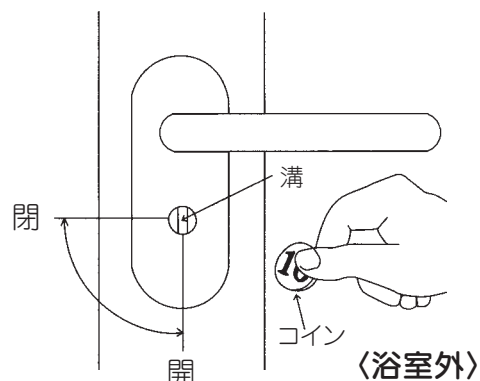
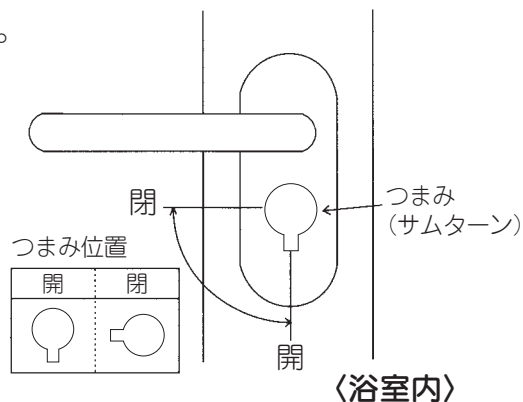
- レバーハンドルの下つまみ（サムターン）を90° 回してください。

錠をかけた浴室からでる場合

- レバーハンドルの下つまみ（サムターン）をもとにもどしてください。
レバーハンドルを下げますと、ロックは解除されます。

錠をかけてある浴室に入る場合

- つまみの溝にコイン等を押し当てて回しますと、ロックが解除されドアを開くことができます。



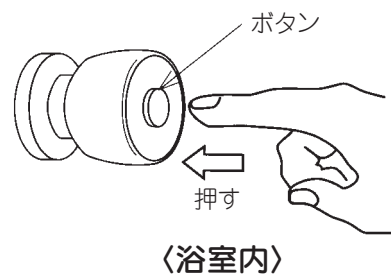
使用方法と使用上のご注意（続き）

押ボタン式の場合

ドアロックは次の要領で施錠、解錠することができます。

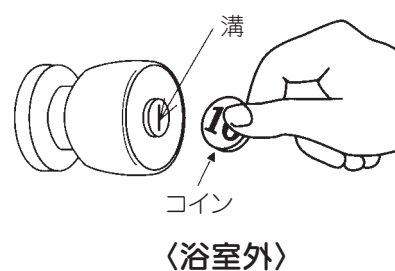
浴室に入り錠をかける場合

- ドアを閉めてからボタンを押してください。



錠をかけた浴室からでる場合

- 握玉を回しますとドアは開きます。



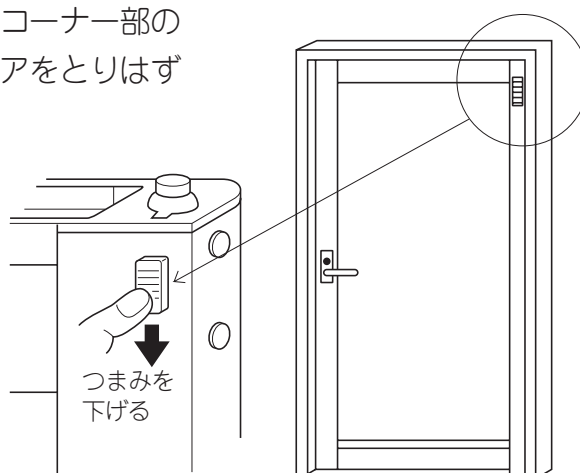
錠をかけてある浴室に入る場合

- 握玉中央の溝にコイン等押し当てて回しますと、ドアは開きます。

非常時には

框戸の場合

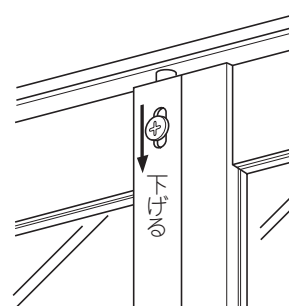
- 非常時の場合、ドア上コーナー部のレバーを下げれば、ドアをとりはずすことができます。



ドアが固くなった場合

折戸の場合

- ドアが固くなった場合、ドア中央部上の取付けビスをゆるめてラッチを下げてください。



使用方法と使用上のご注意（続き）

(12) 点検口について

天井の点検口は配線・ダクト・換気扇の点検、洗い場点検口は配管の点検などに使用します。

点検の際に注意していただきたいこと

- 点検の際は、付属品の上や天井の上にのったり、天井にぶらさがったりしないでください。
- 脚立をご使用の際は、床面を保護して作業は安定なかたちで行ってください。

点検後は点検口をもと通りに正しく

- 点検が終わった後は、点検口をもとの位置に正しく取付けてください。
- 洗場点検口は防水上重要な場所であり、点検後は周囲のスキ間のない様にしっかり締めてください。



注意



禁止

天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。



禁止

洗場の点検口は設備点検時以外は、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

(13) 火気禁止・薬品禁止



禁止

火気禁止

- 浴室内でタバコを吸ったり、その他火気（コンロ・ストーブ等）を使用しないでください。火災やコゲ等の原因になります。



禁止

薬品の使用禁止

- 中性洗剤以外のクレンザー、みがき粉、シンナー、ベンジン、塩酸及び塩酸を含む洗剤、現像液、カビ取り剤などの薬品は使用したり、流したりしないでください。これらを使いますと、傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどの事故を起こすことがあります。
- 毛染液、染料は変色しますのでご注意ください。



入浴剤
注意

硫黄系入浴剤の使用禁止

- 硫黄系の入浴剤は使用しないでください。浴槽などのFRPおよび水栓などの金物を変色させるおそれがあります。



使用方法と使用上のご注意（続き）

(14) 浴槽と風呂フタについて

浴槽

- 浴槽に硬いものをぶつけないでください。硬いものや、先のとがったものをあてますと表面に傷がついたり、ヒビ割れの生じる事があります。
- 冷えきった浴槽には、直接熱湯（80℃以上）を入れないでください。表面が変色したりいたむ原因となります。



注意



禁止

浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水がもれるおそれがあります。



禁止

イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります。



禁止

浴槽のふちやカウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせたり、浴槽が傾いて転び、ケガをするおそれがあります。



禁止

浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。



湯温注意

入浴前に、必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。

風呂フタ

- 浴槽にお湯を入れて放置しておく場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。



警告



禁止

風呂フタの上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



注意



風呂フタ

風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。風呂フタをご購入の際は、販売店もしくは(株)ハウステックの営業所またはサービス代理店までご連絡ください。

24時間浴槽

- 24時間浴槽を継続してご使用になりますと、浴槽表面の退色を著しく促進したり、いたみの原因となりますので、ご使用をさけてください。

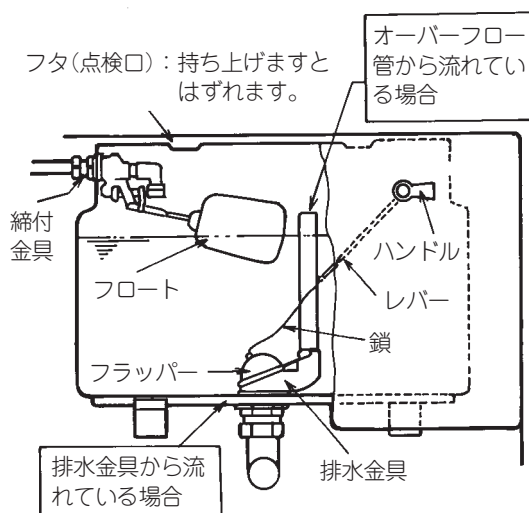
転倒に注意

- 浴室内はすべりやすいところです。特にお年寄りやお子様が入浴される時は十分ご注意ください。

使用方法と使用上のご注意（続き）

(15) ロータンクについて（便器後側に設置してある場合）

- ロータンクは便器の汚物を流す為に必要な水をためておく物です。
ハンドルを引くと水が流れ自動的に水が供給されます。
- ロータンクの中へ異物（ビン、缶等）を入れないでください。流れが悪くなります。



水が止まらない場合

- オーバーフロー管から流れている場合はタンク内の水が所定の水量より異常に多い場合です。この場合にはフロート（白い浮玉）がタンクの壁面に当たって作動していないためです。フロートを壁面より離してください。（水が供給されない場合も同じです。）
- 排水金具から流れている場合はフラッパーが外れた場合とフラッパーと排水金具の間にゴミ等がからまってフラッパーと金具が密着していない場合です。フラッパーの支点ダボを差込むかフラッパーを上げてゴミを取り除いてください。

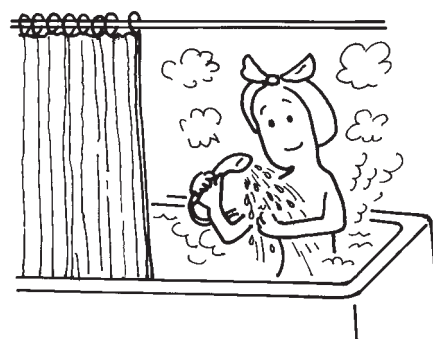
水が出ない場合

- ハンドルを引いても水が出ない場合はレバーと鎖が外れている場合です。上部フタを外しフラッパーの所で2 環位たるむように差込んでください。

(16) その他使用上のご注意

シャワーは浴そう内で

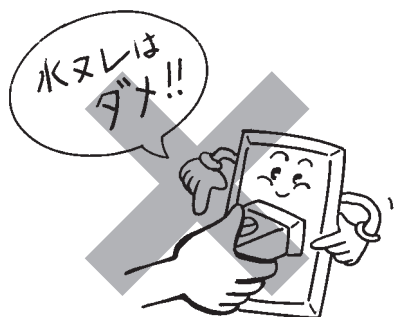
- シャワーは浴そう内でカーテンをしめてご使用ください。
カーテンをあけてシャワーを使用するとカウナー、便器などが濡れて使いづらくなったり、室内へお湯が飛散することがあります。



使用方法と使用上のご注意（続き）

コンセントは水嫌い

- コンセントに水をかけないでください。
漏電して使用できなくなります。
- ぬれた手でさわらないでください。感電の恐れがあります。



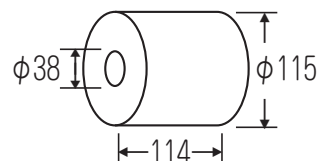
トイレットペーパーは規格品で

- トイレットペーパーは種類によってペーパーホルダーから落ちる場合があります。
JISマーク品をお使いください。

—— 〈ご 参 考〉 ——

 JIS規格のトイレットペーパーをご使用ください。

紙 幅 114mm
巻 取 径 $\phi 115$ mm
シンの径 $\phi 38$ mm



便器に流してはいけないもの

- 新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど、詰まりやすいものは流さないでください。
- 鉛筆、くし、歯ブラシなどを便器の中へ落としますと内部でつまります。誤って落としたときは水を流す前に必ず拾い出してください。

便座を乱暴に扱わないで

- 便座、フタの開閉は乱暴に行わないでください。
- 踏台として使用しないでください。
- 便座、フタには塗料、殺虫剤、マニキュア、シンナーなどを付着させないでください。
- 便座、フタの軸部に油などをささないでください。

4. お手入れ方法

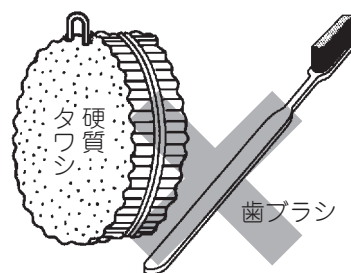
長くご愛用いただくために日頃のお手入れをしてください。

お手入れに必要な用具

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
- 毛先の柔らかいブラシ（ウェーブダイヤパターン用）
- 中性洗剤（バスクリナー）

使ってはいけない用具・薬品

- 傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどを起こします。下記のものは絶対にお使いにならないでください。



(1) 壁・天井・ドアのお手入れ

週に1回

- やわらかい布、またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて、湯アカ・ホコリなどを洗ってください。

(2) 目地のお手入れ

床・壁・天井の継目部分にはめ込まれている目地材（タイル目地やコーキング）には、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあります。

週に1回

- やわらかい布またはスポンジに中性洗剤をつけて、目地部の汚れを拭きとってください。

お手入れの際注意していただきたいこと

- 目地材は防水性能上大切な役割をはたしております。取りはずしたり、傷つけたりしないようご注意ください。

（ご注意）

- お手入れするときは、歯ブラシ、タワシなどは使用しないでください。目地材をいため、水もれの原因となることがあります。

お手入れ方法（続き）

（3）目皿・排水トラップのお手入れ

排水トラップは臭気止めの効果をはたす重要な部品です。

排水トラップは常に清潔に

- トラップ内に毛髪やゴミが詰まると、排水能力が低下し不衛生になるばかりでなく、床面に水があふれたり水もれの原因になります。週に1回は清掃してください。
- 万一詰まった場合はすぐに取り除いてください。

お掃除の手順

（排水導入管なしの場合）

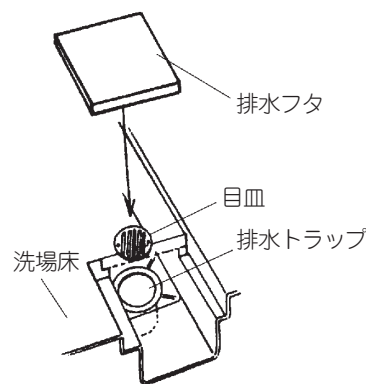
- 1) 上目皿をはずします。
- 2) 目皿を回して排水トラップからはずします。
- 3) 排水トラップの中の毛髪やゴミを取り除きます。



お掃除の手順

（排水導入管なし、排水フタありの場合）

- 1) 排水フタをはずします。
- 2) 目皿をはずします。
- 3) 排水トラップの中の毛髪やゴミを取り除きます。

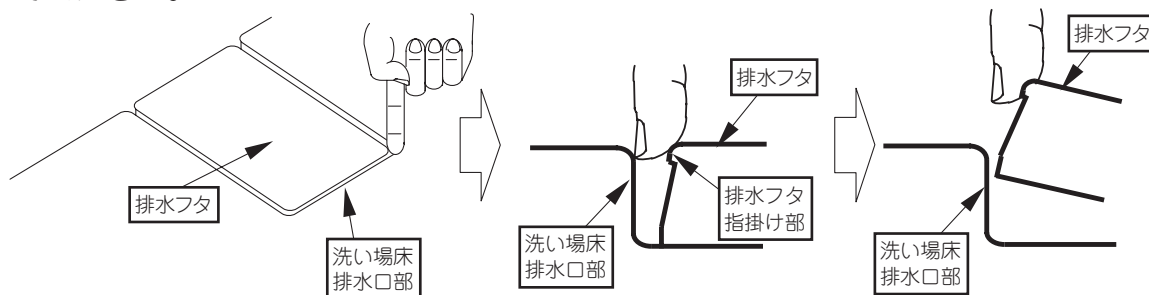


掃除が終わったら

- 1) 目皿を正しく取付けてください。（排水導入管なしの場合）
- 2) 封水を保つため、必ずバケツ1パイの水を流してください。

排水フタ着脱方法

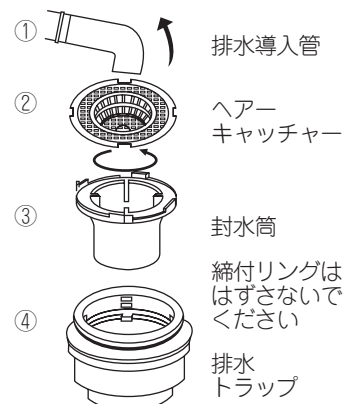
- 洗い場床排水口部と排水フタとのコーナーのすき間、又は指掛け部に、指先を指掛けてください。
- 排水フタ指掛け部を指先に掛け、持ち上げてください。



お手入れ方法（続き）

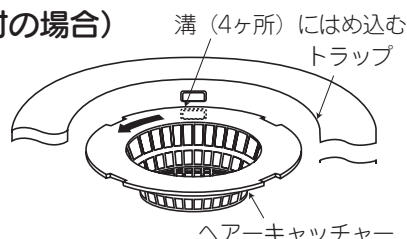
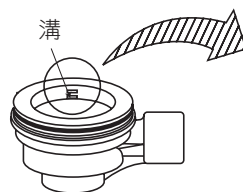
お掃除の手順（排水導入管付の場合）

- 1) 排水フタをはずします。
- 2) 排水導入管を軽く持ち上げてください。横方向へずらさないでください。
- 3) ヘアーキャッチャーの中の毛髪やゴミを取り除きます。
- 4) 毛髪やゴミが排水トラップに入った場合は、ヘアーキャッチャーをはずして、取り除いてください。
- 5) ゴミ等を取り除いた後、ヘアーキャッチャーと排水導入管を元の位置に戻してください。



ヘアーキャッチャーの取付（ヘアーキャッチャー付の場合）

- ヘアーキャッチャーはトラップ内側の溝（4ヶ所）の間にはめ込んで45度まわしてください。



(4) 床及び浴槽下と浴槽のお手入れ

毎日

- 湯アカや石けんカスは乾いてからでは落ちにくくなります。
- ご入浴後排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽をかるく水洗いしてください。ウェーブダイヤパターン（目地）の床は、毛先の柔らかいブラシを使用してください。このとき、床周囲のコーキング（目地）材はブラシでこすらないでください。
- 中性洗剤をお使いになれば、さらに美しくなります。



週に1回

- 浴槽排水口にたまった髪の毛等のゴミを取り除いてください。また、そのゴミは排水口に流さないでください。
- 浴槽下からお湯を排水するタイプは、ぬめりが発生しやすいため、ホースで放水してください。

床の排水後には軽く水滴を拭き取ってください

- 新しい床は、FRP（繊維強化プラスチック）でできているため、従来のタイルに比べ排水後、水滴が残ることがありますので、軽く水滴を拭き取ることをご推奨いたします。

洗場床の周囲、排水口廻り、浴槽下のお手入れの際注意していただきたいこと

- お手入れは、やわらかい布またはスポンジで中性洗剤の使用をご推奨いたします。
- お手入れするときは、硬質タワシやクレンザー、みがき粉等は使用しないでください。床面の割れ、はがれの原因になります。
- 重量物をひきずったり、衝撃を与えないようにしてください。割れ、傷の原因になります。

排水フタはこまめにお手入れ

- 排水フタは湯アカや石けんカスの特にたまる所ですので、水洗いや中性洗剤で、こまめに洗い落としてください。
- 排水フタは、模様面が表面です。

お手入れ方法（続き）

(5) 水栓金具・タオル掛け等金属部のお手入れ

やわらかい布で磨くことが何よりのお手入れ方法です。

美しい光沢を保つために

- 年に二回程度、ワックス等を浸した布で拭いていただきますと美しい光沢を保てます。

油類が付着したときは

- 石けん液や中性洗剤で洗い落としてください。この後、乾いた布で水気を取ってください。

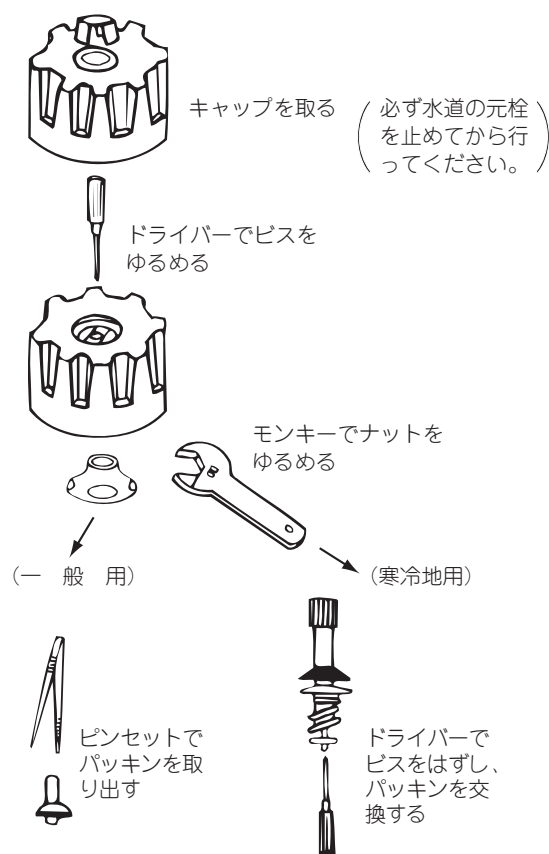
⚠ 注意



掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。使い方を誤ると、人体に影響が出たり、床・浴槽・壁等に不具合を生じるおそれがあります。

(6) 混合水栓（2バルブ水栓）のパッキン交換要領について

- 混合水栓（自在水栓）のパッキンの交換は次のように行ってください。



- パッキンは有名デパート・スーパーの日曜大工コーナーや有名金物店にて販売しています。交換のむずかしい時は最寄の水道工事店さんにお問い合わせ願います。

お手入れ方法（続き）

（7）灯具の交換方法



警告



照明のお手入れをする場合は、必ず電源を切ってから作業をしてください。
感電やケガをするおそれがあります。



注意

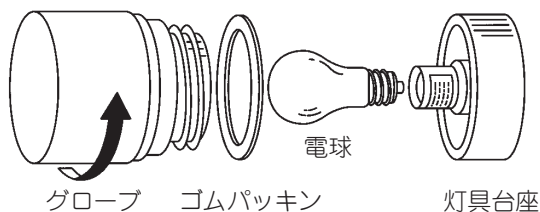


- 電球を交換する場合は、必ず安定した踏み台をお使いください。
バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 電球は必ず灯具台座に表示してある種類、ワット(W)数、口金サイズの適合ランプを使用してください。
異なる種類、ワット(W)数のランプを使用しますと、取り付けができなかったり、過熱によりやけどや器具が変形・変色したり火災の原因となります。
また、器具が変形・破損すると防湿性能が失われ、漏電や電球破損の原因となります。
- 電球形蛍光ランプの場合は密閉形や防湿・防雨の器具に対応したものを使用してください。

電球の交換手順

電源(スイッチ)を入れても浴室灯がつかないときは、電球が切れていることが考えられます。次の手順で交換してください。

- ①電源(スイッチ)を切ってください。(OFFにする)
- ②器具の温度が下がったのを確認してからグローブを左に回してはずしてください。
- ③電球を取り替えてください。
 - 電球は灯具台座に表示してある種類、ワット(W)数、口金サイズの適合ランプを使用してください。
 - ミニクリプトン球から電球形蛍光ランプに交換する場合は、グローブ内のサイズを確認してください。
 - 電球形蛍光ランプの色は電球色を使用してください。
- ④ゴムパッキンを忘れずに入れてからグローブを右に回して取り付けてください。
グローブにゆるみがないように気をつけてください。



電球形蛍光ランプについて

- 点灯直後は暗く、約60秒で明るくなります。
- 点灯後、約20分間は明るさや光色が若干変化します。

お手入れ方法（続き）

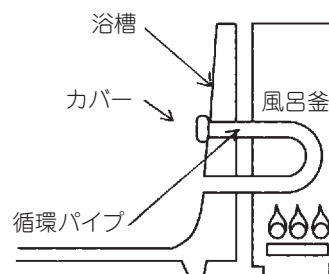
（8）浴槽下及びバランス釜循環パイプのお手入れ

浴槽下も週 1 回のお手入れを 〈フルパネルタイプの場合〉

- 浴槽の下にホース等で放水して掃除してください。

循環パイプの中についた湯アカもとりましょう

- ① 循環パイプの上部のカバーを取りはずします。
- ② ホース等を循環パイプの中にさしこみ勢いよく放水して湯アカを取り除いてください。



5. 「あれ？」と思ったら

商品に故障が生じたときは次の点をお調べになってから、お買い求めの販売店、またはお近くのハウステックの営業所にご相談ください。

現 象	原 因	処 置 方 法
鏡表面の汚れが取れない。	水滴が乾いて、こびついたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
排水が悪い。	ゴミが溜まっていませんか。既設品の取扱説明書をご確認ください。	トラップのゴミを取り除き、捨ててください。 (排水口の中には捨てないでください。)
洗髪時の泡が残る。	泡の量が多いと、水といっしょに流れないためです。	シャワーをかけて流してください。
照明が点灯しない。	球切れではありませんか。	スイッチおよびブレーカーを切って、新品の電球(60W以下)に交換してください。
天井に水滴がたまる。	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。残り湯がある場合は、必ず風呂フタをしてください。
入浴中寒く感じる。	換気扇を運転しながら入浴していませんか。	入浴中は換気扇の運転を止めてください。
水栓金具のハンドルを回すと、カンまたブーンという音がする。	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくり回してください。
シリコン、目地にカビが生える。	浴室の換気と手入れは十分ですか。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。カビは一度生えると、カビ取剤や漂白剤ではきれいに除去することはできません。取替える場合は、販売店にご相談ください。
水栓から水が漏れる。	パッキンが劣化していることがあります。	パッキンは消耗品ですので、水漏れが発生したら、お買上げの販売店または、別記のハウステックの営業所へお問い合わせください。
水栓の吐水量が少なくなり、温度調節が悪くなった。	水栓のストレーナーに、ゴミが詰まっていることがあります。	水栓のストレーナーを掃除してください。掃除方法については器具の取扱説明書をごらんください。
換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇(グリル部)に当たり、水滴となって落下しますが、異常ではありません。	故障などではありません。入浴後もしばらくの間、換気扇を運転させてください。

6. アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

- 商品に不具合を感じたときは「あれ？」と思ったら”を見てもう一度確認してください。それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店またはハウステックサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

アフターサービスを依頼するときは

- アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。
【1】商品の「型式」 【2】不具合の状態(できるだけ詳しく) 【3】住所・氏名・電話番号
商品の「型式」はドア上側に貼り付けられています。

保証と保証期間について

- この取扱説明書には保証書(別紙)が付いています。
記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。

器具の追加や変更について

- 器具を新しく追加したり、位置を変更するときは、お求めの販売店または、ハウステックサービス網一覧表の窓口まで相談ください。

ご相談
ください



バスルーム廃棄についてのお願い

- このバスルームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。

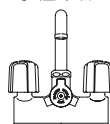
バスルームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

器具の交換について

こんな部品は定期的に交換です。

ご使用中に不具合を感じたときは、お買い上げの販売店またはサービス代理店までご相談ください。

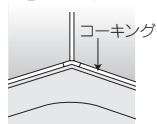
●水栓本体



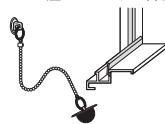
●シャワーホース・ヘッド



●目地・コーキング



●ゴム栓やパッキン類



●照明器具の電球・蛍光灯



照明器具の電球・
蛍光灯はお客様で
交換をお願いします。

交換の目安は、パッキンや目地材など消耗部品でご使用開始から3～5年、水栓本体やドア、換気扇など器具部品で5～10年です。ただし、お客様のご使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

ハウステックお客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

0120-80-1761

●受付時間 平日の9:00～17:30(但し12:10～13:00の間は除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理・点検のご用命は

0120-10-2471

●受付時間 365日 24時間
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

0120-45-5621

●受付時間 平日の9:00～17:30(但し12:10～13:00の間は除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel. 03-5248-5500 www.housetec.co.jp